

北海道文化賞

は にゆう ひかる
羽 生 輝

日本画の三大公募団体展のひとつである「創画展」において、最高賞の創画賞を三度受賞（平成 5・19・20 年）するなど、本道を代表する日本画家として高い評価を得ている。

平成 12 年から 2 年間にわたり、北海道新聞夕刊に連載された原田康子氏の小説「海霧」の挿絵を手がけるなど、道東の海岸風景をモチーフに、厳しい自然やそこで生きる人々の暮らしを描き続け、後進の育成にも尽力するなど、長年にわたり本道の日本画の振興・発展に貢献している。

◎受賞者の主な略歴

- S46 第 46 回 道展 新人賞受賞
- S50 第 50 回 道展 会友賞受賞
- H5 第 20 回創画会展 創画賞受賞
- H6 東京セントラル美術館日本画大賞展 優秀賞受賞
- H9 文化庁在外研修員（パリ留学）
- H13 釧路市文化賞受賞
- H16 第 5 回雪舟の里 総社墨彩画展 平山郁夫賞受賞
- H16 釧路湖陵高等学校非常勤講師（～現在）
- H19 釧路市民文化展実行委員長（～現在）
- H19 第 34 回創画会展 創画賞受賞
- H19 北海道文化奨励賞受賞
- H20 第 35 回創画会展 創画賞受賞・創画会会員推挙
- H20 小説「海霧」原画展（道立釧路芸術館）
- H28 北海道美術紀行展に選抜（道立近代美術館）
- H29 （一財）釧路市民文化振興財団理事（～現在）